

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 第63回 通常総会・臨時総会
- P6 青年部・女性部だより
- P7 経営にダッシュボードを
掲示板
- P8

ニュースクリップ News Clip

あ 商 ぎ 不 け ない 工 たら す 人 び と ぶ く し ま 商 ・ 工 ・ 人

2023.7.1
Vol.401



P2に掲載

捨てないから始める!!
～地元農家野菜をふんだんに使った
手作り料理の提供と食品ロスの低減～



デリカフェ ポール
玉川村・Delicafe Poele



P3に掲載

お菓子で“おいしい笑顔”にしたい
～昔ながらの伝統を継承しつつ、常に新しい取り組みに挑戦～

いわき市・塩屋菓子店



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(fukuren@do-fukushima.or.jp)

浜通り 遠野町商工会

お菓子で“おいしい笑顔”にしたい
～昔ながらの伝統を継承しつつ、
常に新しい取り組みに挑戦～



塩屋菓子店
代表 平子 裕道 氏
住所 〒972-0251 福島県いわき市遠野町入遠野字前田111-2
連絡先 TEL/FAX:0246-89-2285
営業時間 7:00～18:00
定休日 第2・4日曜日
URL <https://www.gurutto-iwaki.com/detail/1941/index.html>

【事業所紹介】
当店は、祖父の代に現在地であるいわき市遠野町入遠野地区にて創業、約100年の歴史を持つ老舗菓子店です。和菓子の製造小売を中心に、既成菓子やパン、飲料品、目の前が小学校ということもあり、学校事務用品の販売も行っております。
当店の一番人気は「柿まんじゅう」です。丁寧に干した柿の中に、白あんをたっぷり詰め、外側を羊羹でコーティング。柿本来の濃厚かつ爽やかな風味が特長です。全国菓子博覧会で金賞を受賞しております。
他にも、生クリームたっぷりの「とろ～りメープルプリン」や、フランス産クリームチーズをふんだんに使った「チーズプリン」といった洋菓子も製造しており、お客さまからは「和菓子屋が作る洋菓子」として好評



を頂いております。
「幸せづくりのお手伝い」をモットーに、一人でも多くのお客さまにスイーツを食べて幸せになってもらいたい、その一心で和菓子も洋菓子も、ひとつひとつ丁寧に手作りしております。



【経営方針等】
当店の菓子を食べたその先にある「おいしい笑顔」を常に心に留め、「昔ながら」の伝統の味を継承しつつ、「新しい」ものにも積極的に取り組み提供し続けていくことを常に考えております。

【商工会支援内容】
主に市内のイベント出展支援、記帳指導や税務支援を受けております。町の人口減少、原発事故による風評被害の影響が大きく、このままでは自分の代で潰してしまう…という懸念から、積極的に補助金申請や販路開拓に向けての事業計画策定に懸命に取り組んできました。その結果、「いわき市中小企業・小規模企業経営発達補助金」は採択され、新商品を開発するための機械導入やパッケージデザインの作成、テストマーケティングなどの事業展開へ繋げていくことができました。
この補助金申請をきっかけに、当店のPRにと、「Googleビジネスプロフィール」を勧められ、早速登録。基本情報や主力商品を載せただけでしたが、タイミングよく、広域連携事業で行っていた各地自慢の商品を集めた「お取り寄せギフト」のチラシに当店の商品が掲載されていたことが相まって、アクセス数が一週間で1万ビュー超えと驚異的な数字となりました。チラシが入った2か月間の売上は、コロナ禍であったにもかかわらず、過去2年間の同月を大幅に上回りました。

このように大きな効果として表れているので、今後とも商工会の協力を頂きながら、事業計画やSNS活用に邁進していきたいと考えております。

【今後の目標】
これからも今まで通り、地域に根差した菓子店であり続ける努力は怠りません。社会変化やニーズに応えながら、新商品開発をしつつ、伝統の味、和菓子の文化を継承し続けたいと考えております。

苦手分野でもあったSNSにも積極的に取り組み、お客さまに多くの情報を上手に発信していきたいと考えております。

いわき市にお越しの際は、山間ではありますが、ほととす遠野にお立ちよりいただき、当店のお菓子で笑顔になっていただければ幸いです。



県中・県南 玉川村商工会

捨てないから始める!!
～地元農家野菜をふんだんに使った
手作り料理の提供と食品ロスの低減～



Delicafe Poele (デリカフェ ポワル)
代表 水野 知美 氏
住所 〒963-6313 福島県石川郡玉川村大字川辺字武道389
連絡先 TEL:0247-57-9020
営業時間 10:30～17:00
定休日 火曜日、隔週水曜日
URL Instagram: <https://www.instagram.com/delicafepoele/>

【事業所紹介】
当店は石川郡玉川村川辺の国道118号線沿いで、親戚が約40年レストランを営んでいた店舗を改装して令和5年3月に開業しました。顔の見える地元の農家さんから直接仕入れた旬の野菜をメインに使った健康によい手作りの創作料理を提供しています。ランチメニューは2週間ごとに見直しを行い、様々なバリエーションを楽しんでいただけるよう工夫しております。また、建物の背後を取り囲むようにため



池があり、まるで湖の上で食事をしているかのような景観も当店のセールスポイントです。特に桜の季節には、ため池の周りに植えてある桜を見ながら食事を楽しめます。



【創業の動機】
私自身は石川町に住んでおりまして、地元の農家さんから野菜を頂いたときに料理にしてお返しすることが多かったのですが、その時に頂いた野菜が「形が少し曲がっているから規格外になっちゃうんだよね…」という声があり、せっかく地元の農家さんが生産した野菜の一定割合は、規格外野菜として廃棄されてしまう現実を知りました。そのような中、自分が地元の活性化や農家さんのために何ができるかを考え飲食店を始めました。そのため、当店の野菜の一部は規格外野菜を利用してあります。

【商工会支援内容】
創業に向け、商工会に補助金申請の相談に行った事がきっかけとなり、石川地区広域の創業セミナーを受講しました。専門家との創業計画書のブラッシュアップも行えた事で、地域課題解決型補助金の申請や創業融資の申込みを進めることができました。補助金申請には、プレゼンも必要だったため、地元商工会の経営指導員を始め、中通り広域指導センター所長や主任広域経営指導員など多くの方々にご協力頂き、プレゼンの練習を行い、無事採択となりました。実際開業するまでの間も許認可申請や店舗経営・オペレーションについて話し合ったり、プレオープンの際に接客・接客マナー等のチェックを行ったりなどの支援を頂きながら、今年3月に開店することができました。

【今後の目標】
食の安全が大きな社会問題となっている現在、日本人の食生活は、従来日本人が口にしてきた食事と大きく変化し、保存料などの添加物が入ったものや加工食品がメインとなり、食の欧米化がますます進んでいると言われております。それに伴い生活習慣病にかかる人も年々増加しているのが現状です。今後、社会全体として健康と食事の大切さの風潮が高まっていく中、地場で収穫された新鮮な野菜の提供をすることで、地域の皆様に愛されるお店作りをしていきたいと思っておりますので、お近くにお立ち寄りの際にはぜひご来店お待ちしております!!



伴走支援の強化による、力強いふくしまの商工業再生を目指して

第六十三回 通常総会・臨時総会



会長あいさつ



内堀知事あいさつ



渡辺県議会議長あいさつ

去る三月二十八日、五月二十五日、福島市「コッセふくしま」において、臨時総会及び第六十三回通常総会を開催した。

通常総会では、席上、商工貯蓄共済並びに優良商工会等の表彰を行い、続いて来賓の内堀知事、渡辺県議会議長から祝辞をいただいた。

臨時総会の議事では、重点事業として、自然災害による被害、消費者の生活様式の変化と人手不足、そして、東日本



退任役員挨拶



就任役員挨拶

大震災・原発事故の影響が残る被災中小企業・小規模事業者への経営支援の強化を図るため、商工会の組織力をフルに活用し、事業継続支援や事業再開支援、事業継承や創業支援の推進、さらにはウィズコロナ・ポストコロナ時代を見通した事業の転換やDXの促進など、令和五年度の事業計画及び各会計の予算が決定された。

通常総会の議事では、令和四年度の事業報告及び各会計の決算について承認され、役員退任に伴う補充選任では、蜂須賀禮子副会長、金子市夫専務理事、井出茂理事、鈴木礼子理事の四名が選任された。

五月八日に「コロナに関する感染法上の

位置づけが緩和されたことにより、戻りつつあるインバウンド需要の回復をはじめ、地域経済活動の活発化が期待されます。商工会・商工連は、県及び関係機関との連携を図りながら、厳しい経営環境にあつて、様々な経営課題を抱えた小規模事業者の声に真摯に耳を傾け、事業者に寄り添った伴走型の経営支援に努め、すべては会員事業者のために、地域工商業者に心から頼られる専門集団としての商工会活動の一層の充実強化を図り「伴走支援の強化による力強いふくしまの商工業再生」を目指し、今年度は、以下の事業に重点的に取り組んで参ります。

位置づけが緩和されたことにより、戻りつつあるインバウンド需要の回復をはじめ、地域経済活動の活発化が期待されます。商工会・商工連は、県及び関係機関との連携を図りながら、厳しい経営環境にあつて、様々な経営課題を抱えた小規模事業者の声に真摯に耳を傾け、事業者に寄り添った伴走型の経営支援に努め、すべては会員事業者のために、地域工商業者に心から頼られる専門集団としての商工会活動の一層の充実強化を図り「伴走支援の強化による力強いふくしまの商工業再生」を目指し、今年度は、以下の事業に重点的に取り組んで参ります。

令和五年度 事業計画重点事項

- 「ウィズコロナ・ポストコロナ等を見据えた中小企業・小規模事業者への伴走支援の強化」
- 課題設定型の経営力再構築伴走支援の強化〔継続強化〕
- 新規▽原油高・原材料高騰に対する支援
- 小規模事業者持続的発展支援事業「シオクリビト」〔継続強化〕
- 事業環境変化対応型支援事業による事業継続支援〔継続強化〕
- 経営・資金繰り支援〔継続強化〕

⑥ 自然災害等に備えた経営環境整備の支援〔継続強化〕

⑤ 東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化

④ 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業・小規模事業者の再生・再建と避難地域商工会機能の回復・強化への支援

③ 被災商工会等の復興・ビジョンに基づく事業の実施

② 原子力損害賠償の完全実施への支援とALPS処理水への対応〔継続強化〕

① 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施

三、原発事故による風評被害払拭と消費拡大に向けた取り組みの強化

① 福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業

② 「シオクリビト」によるふくしまの



議長（臨時総会）



議長（第63回通常総会）

新たな商品開発に向けた支援事業〔継続強化〕

③ 福島美味しいもの食のフェアから継続した企業支援

④ 福島県中小企業者復興支援事業

四、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化

① 小規模企業振興条例制定の推進

② 事業承継・創業支援への取組みの強化〔継続強化〕

③ 提案型の経営支援・巡回訪問の推進

④ 小規模事業者の持続的な経営に向けた支援の推進〔継続強化〕

⑤ 働き方改革・生産性向上・税制等事業者に対する支援体制の強化〔継続強化〕

⑥ キャッシュレス決済、DXによる新たな顧客体験の創出〔継続強化〕

⑦ 農商工連携の推進

⑧ 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化

⑨ 中小企業・小規模事業者に対する支援機関連携による経営支援

⑩ 事業者情報発信の推進によるDX支援の強化〔継続強化〕

五、小規模事業者の事業継続力強化と災害等経営リスクに対する支援強化

① 防災・減災の事前対策に関する事業継続計画作成支援

② 伴走型経営支援の推進

③ 経営支援事例の共有とノウハウの蓄積による伴走型経営支援の推進

④ 商工会館の防災力強化〔継続強化〕

⑤ リスクに備えた会員サービスの充実強化〔継続強化〕

六、商工会の経営支援体制の強化

① 商工会の組織基盤の強化〔継続強化〕

② 商工会職員の資質向上対策の推進〔継続強化〕

③ 商工会の生産性向上と働きやすい職場づくりを通じた会員支援の充実〔継続強化〕

商工貯蓄共済表彰

○目標達成商工会

国見町、飯野町、石川町、平田村、常業町、西郷村、南会津町、湯川村、三島町、葛尾村、小高、内郷、遠野町

○連続目標達成商工会

湯川村（五年）



表彰（内郷）

○純増口数基準

内郷

○新規加入人口数基準

南会津町

令和四年度実施

優良商工会等表彰

（優良商工会）

○経営革新計画支援

あだたら、熱海町、大東、長沼、岩瀬、天栄村、三春町、滝根町、船引町

○持続化補助金支援

天栄村、西郷村、矢吹町

（記帳支援事業）

○新規自計利用者

推進優良商工会

第一位 只見町

第二位 滝根町

第三位 下郷町

○新規記帳機械化処理受託推進優良商工会

第一位 飯館村



表彰（天栄村）



表彰（西郷村）



表彰（只見町）



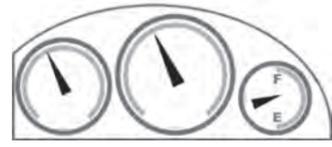
表彰（飯館村）

経営にダッシュボードを



ある家が遠方へ旅行に行くため、車を出発します。家の近くでガソリンを満タンにし、制限速度を守りドライブを楽しみます。しばらくして運転するお

さて、今回のテーマは、「経営にダッシュボードを」です。ダッシュボードとは、車の前にある↓です。このダッシュボードをみなさまの事業にも、上手に設置しませんかというのが本コラムの主旨になります。まず例に、スピードメーター



商工会会員のみなさまこんにちは、福島県よろず支援拠点コーディネーターを務める石田と申します。みなさま「よろず支援拠点を存じでしょうか。よろず」とある通り、創業から、成長の悩み、成熟後の悩み、引際の悩み等々、事業経営に関するあらゆるご相談を承る国の事業拠点です。なお、それぞれのお悩みに対してより適切で専門的な知見を持つ他の公的支援機関との連携や橋渡しにも力を入れております。ごうぞお気軽にご利用ください。

父さんは、ふと心配になります。「ガソリンは目的の地まで足りるかな?」「エンジンの調子は今は良いけど故障しないかな?」。でも、いくら心配しても車にはスピードメーターがありません。ガソリンの量や車の調子をお父さんは想像するしかありません。車が家族の期待に応え目的地に無事到着できるかは「ラックボックス」の中です。

車を事業に置き換えてみます。事業経営の上で、みなさまが最も意識するのが売上や利益ではないでしょうか。それらは日々の事業経営の結果として獲得され、車に例えるならアクセルを踏んだ結果のスピードと考えて良いかも知れません。ここで、先ほどの「家の例と同様に考えてみると、今は順調なスピードで走っている(売上)があがっている(利益)からと言って、この先の順調にそのスピードを維持できるのかどうかはわかりません。燃料(例えば資金や人材等)は尽きかけているかもしれませぬ。そのように考えると事業経営においても車の燃料計と同じ役割を果たすものが求められます。

そのような観点に基づき、事業の状態を把握しようとする考え方に「バランス・スコアカード(もしくはバランス・スコアカード)」というものがあります。「バランス・スコアカード」は時間軸を意識した四つの視点①財務の視点、②顧客の視点、③業務プロセスの視点、④学習と成長の視点で事業の状態を把握します。

「①財務の視点」は、売上や利益等いわゆる財務指標の視点です。注意点はこれらが過去の事業経営の結果を表しているに過ぎないことです。

「②顧客の視点」は、現在の顧客に関する視点です(顧客満足度指標等)。これらは正に現在の事業の状態を示し近い将来の①に影響します。

「③業務プロセスの視点」は、社内業務プロセスに関する視点です(効率性、品質指標等)。これは近い将来提供される商品やサービスに影響を与え、近い将来の②に影響を与えます。

「④学習と成長の視点」は、従業員や組織に関する視点です(能力・スキル指標等)。これらは従業員の仕事として③に影響し、将来の②に影響を与えます。こうした四つの視点からバランスよく事業の状態を把握することで過去の成果や短期的視

点のみに囚われず、中長期的に安定した事業経営が可能となります。実際に「バランス・スコアカード」の考え方を導入する際には、それぞれの指標の関連性を考慮しながら各視点ごとに鍵となる指標をまずは二つ程度とするのが良いでしょう。またできるだけ定量的で簡易に評価できる指標が望ましいでしょう。管理のための手間が本業を圧迫するようでは本末転倒になりますので。

福島県よろず支援拠点
コーディネーター

石田 篤

H P <https://f-yorozu.jp/>
TEL 024-954-4161(郡山)
024-525-4064(福島)
E-Mail yorozu@f-open.or.jp



青年部 だより ~県青連第56回通常総会開催~

福島県商工会青年部連合会の第56回通常総会が5月12日(金)に郡山市「郡山ビューホテル」にて開催されました。

菅野昭則会長挨拶の後、福島県商工会青年部員顕彰として、人(ヒューマン)づくり部門、ネットワークづくり部門、まち(地域)づくり部門、感謝状また、部員増強運動の顕彰が行われました。

その後、大河内俊樹氏(鹿島商工会青年部)が議長となって議案審議に入り、提出された全議案が可決承認されました。第4号議案では任期満了に伴う役員選任が審議され、右記の通り新役員23名が選任されました。



【令和5年度青年部顕彰受賞者一覧】

人づくり部門	飯田 一仁(磐梯町)
ネットワークづくり部門	林 大助(川俣町)
まちづくり部門	矢吹町商工会青年部
感謝状	藤倉 学(桑折町)
	高橋 公助(都路町)
	草野 好広(西郷村)
	飯塚 幸知(きたかた)
	渡辺 雄一(富岡町)
	根本 貴弘(四倉町)
部員増強運動	1位 船引町商工会青年部
	1位 西郷村商工会青年部
	1位 新地町商工会青年部

第28期福島県商工会青年部連合会役員

役職	氏名	所属商工会
会長	菅野 昭則	川俣町
副会長	渡邊 直栄	小野町
〃	橋本 秀和	矢吹町
〃	渥美 慎司	猪苗代町
〃	玉川 陣	小高
〃	瀬谷 慎一	田人町
理事	水口泉太郎	保原町
〃	山田 美香	飯坂町
〃	林 淳	飯野町
〃	渡邊 将昭	富久山町
〃	小針 幹雄	岩瀬
〃	常盤慎太郎	古殿町
〃	白土謙太郎	滝根町
〃	金沢 和也	棚倉町
〃	増子 雄一	矢祭町
〃	室井 崇	南会津町
〃	武藤 隆弘	きたかた
〃	小池 一成	柳津町
〃	大河内俊樹	鹿島
〃	橋本 正浩	三和町
監事	小椋 伍	大玉村
〃	川島 弘靖	田村町
〃	馬場 大輔	只見町

女性部 だより

商工会女性部トップセミナー・第56回通常総会開催される! 主張発表福島県大会 最優秀賞(県知事賞)に丸山美佳子さん(矢祭町商工会女性部)

第56回福島県商工会女性部連合会通常総会は、令和5年5月10日・11日 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」にて開催され、内堀県知事、齋田県連会長、菅野県青連会長をご来賓に迎えました。県内88商工会から222名の女性部長・部員が参加しました。通常総会では、加藤文部長(金山町)が議長となり第1号議案から第4号議案までが原案通り可決承認されました。任期満了による役員改選では、会長に鈴木礼子氏(内郷)が選任されました。



会長
鈴木礼子

また、総会の席上において、昨年度新規部員の加入数が優れていた10女性部に対し表彰及び報奨金として目録の授与を行いました。

通常総会に併せて実施した「女性部トップセミナー」では、県内6ブロックの代表者による商工会女性部主張発表福島県大会が行われ、『女性部活動と地域振興・まちづくり～女性部って何のために入るの?伝統の活動とコロナ禍を通じて見えてきたもの～』というテーマで発表した、県南地区代表・矢祭町商工会女性部 常任委員 丸山美佳子さんが最優秀賞(県知事賞)に選ばれ、7月25日に山形県「やまぎん県民ホール」で行われる東北・北海道ブロック大会への出場を決めました。

翌11日には、『元気が出る話』～地域活性人間力が一番!!～と題し、ヒューマンポテンシャル研究所 所長 渡辺勇氏による基調講演が行われました。

最優秀賞受賞 丸山美佳子さん



最優秀賞受賞 丸山美佳子さん



ヒューマンポテンシャル研究所 所長 渡辺 勇氏

県女性連新役員

役職	氏名	所属商工会
会長	鈴木 礼子	内郷
副会長	渡邊 富子	矢吹町
〃	三瓶 幸子	富岡町
〃	植木 和子	松川町
〃	佐賀 彰子	猪苗代町
〃	中村 洋子	逢瀬町
理事	鈴木キヨ子	桑折町
〃	本多さつ子	あだたら
〃	長谷川真美子	本宮市
〃	山平のり子	湖南町
〃	菅野 圭子	三穂田町
〃	田村久美子	岩瀬
〃	鈴木 恵子	古殿町
〃	辺見加津子	西郷村
〃	石井富士子	矢祭町
〃	齋藤 美希	南会津町
〃	樋口 和恵	会津坂下町
〃	加藤 文	金山町
〃	新田由美子	西会津町
〃	野口美佐子	大熊町
〃	渡邊 幸	浪江町
〃	瀬谷 光子	田人町
〃	二瓶恵美子	滝根町
監事	諏訪 静枝	三島町

※理事・監事地区順

全国から新潟へ、新潟から全国へ
地域資源や先端情報が集う「食の国際総合見本市」

出展者募集中!

申込締切 8/31(木)

第15回 食の国際総合見本市



フードメッセ in にいがた2023

2023.11/8(水)~10(金) 10:00~17:00
(最終日は16:00まで)

会場:朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

主催:フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主管:(株)日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

フードメッセinにいがた「6つの特徴」

- 1 新潟を基点としたビジネスチャンス拡大の場!
- 2 食品・食材から機器・容器まで、食に関連した独自商品や最新情報が出展!
- 3 新潟県内をはじめ、全国各地から販路開拓を目指し、各種団体が共同出展!
- 4 新潟を中心に全国から約1万人のバイヤーが来場予定!
- 5 出展者同士のコラボによるビジネス化も盛ん!
- 6 充実した出展者サポート!

同時開催
全国の6次化に取り組む事業者のための展示・商談会!!
第10回 にいがた6次化フェア2023
6次化商品にスポットを当て、商談につながるコンテスト
第8回 6次化大賞 主催:(株)日本食糧新聞社

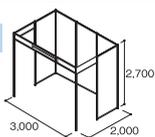
「フードメッセinにいがた」開催15回記念
特別企画 にいがたお米未来展2023
～「フードメッセinにいがた」から発信するイノ“米”ション～

出展プラン

食品・食材/お米未来展専用ブース

1小間=3m×2m(6m²)

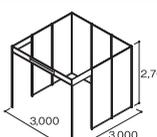
90,000円(税別)
(税込価格:99,000円)



一般ブース

1小間=3m×3m(9m²)

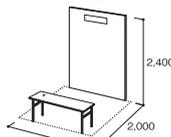
120,000円(税別)
(税込価格:132,000円)



6次化フェア専用ブース

1小間=2m×2m(4m²)

50,000円(税別)
(税込価格:55,000円)



出展に関する
お問い合わせ

フードメッセinにいがた 運営事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6F (株)日本食糧新聞社 ビジネスサポート本部

TEL.03-3537-1077 (問い合わせ受付時間 平日 9:30~17:30)

E-mail contact@foodmesse.jp https://foodmesse.jp

フードメッセ 🔍 検索



INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権

